

これが外来生物



©JWRC

外来カブトムシ・クワガタムシ
ブームで大量輸入。在来種がいなくなる恐れがあります。



©JWRC

アライグマ
北米原産。ペットが野生化し、農作物の被害が出ています。



アメリカミンク
毛皮養殖場から野生化。魚への被害が出ています。



©JWRC

カミツキガメ
ペットとして輸入。攻撃的で、かみつかれると大けがをします。



©JWRC

オオハンゴンソウ
観賞用に輸入。日本古来の希少種がなくなる恐れがあります。

外来生物ってなに？



もともと日本にいなかった生き物で、人間によって日本に持ち込まれたものことだよ。外来生物に対して、もともとその地域に住んでいる生き物のことを在来生物というんだ。

どんなことが問題になっているの？

主なものでは、次の3つのことが大きな問題となっているんだ。

1 在来生物や自然への問題

在来生物を食べてしまったり、近い種類の在来生物との雑種が生まれてしまうことにより、在来生物を絶滅させ、生態系のバランスを崩してしまう。

2 農林水産業への問題

畑の作物を食べ尽くしてしまったり、漁師さんがとる魚を食べってしまう。



グリーンアノール

3 人間への問題

毒をもち、人間を刺したり、かみついたりする。

どんなことに気をつければいいの？

1 ペットを飼うときは、その生き物のことをよく調べる

ペットの寿命や生態、成長したときの大きさを知っておくことが大切だよ。

2 逃げ出さないようにし、最後まで責任をもって飼育する

飼いきれなくなっても、自然に逃がさずに、引き取り先を探しましょう。

3 野生生物をむやみに移動させないようにする

本州から沖縄へ移動させるなど、国内での移動もやめよう。

外来生物法について

問題を引き起こす外来生物を特定外来生物として指定し、飼育、栽培、保管、運搬、輸入といった取り扱いを禁止し、外来生物の分布が広がるのを防いだり、既に定着している外来生物を取り除いたりしています。

◎主な特定外来生物・・・アライグマ、アメリカミンク、グリーンアノール、カミツキガメ、オオクチバス、オオハンゴンソウ、ミスヒマワリ など



ミスヒマワリ

まとめ

日本各地に拡がってしまった外来生物を取り除くには、たくさんの労力やお金がかかるんだ。だから、私たちは、外来生物を「入れない、捨てない、拡げない」の3原則を守る必要があるんだよ。外国のカブトムシを飼うことはいいけど、日本のカブトムシを守るために自然に逃がしちゃだめだよ。



特集②

マンガでわかる外来生物問題



ふくしま博士

今、テレビのニュースなどで話題になっている「外来生物」。この「外来生物」っていったい何だろう？ そんな疑問にマンガや写真などで分かりやすくお答えします。



フクちゃん



シマ太郎くん

ゆめ子ちゃん



カブトムシ
生息地(せいそくち)は日本(にほん)。名前(なまえ)の由来(ゆらい)は大(おお)きな角(つの)のある頭部(とうぶ)が日本(にほん)の兜(かぶと)のように見(み)えるため。



何あれ？
カブトムシじゃ、ないんですけど、しかもメチャ大きいし！



ネプチューンオオカブト
生息地(せいそくち)は主(おも)に中南米(ちゅうなんべい)。ヘラクレスオオカブトムシに次(つ)ぐ世界(せかい)で2番目(ばんめ)に大(おお)きいカブトムシ。